

ふれあい

2026

4

No.469

牛久愛和総合病院 広報誌



「新年度のご挨拶」

常仁会グループ理事長

たねだ よしろう
種子田 吉郎



2026年度を迎えるにあたり皆様にご挨拶申し上げます。

新年度のはじまりと共に「牛久愛和総合病院」へ75名、常仁会グループ全体では150名の新入職員を迎えることができ、大変喜ばしく思っております。

昨年は10月21日、日本の憲政史上初の女性総理として高市早苗氏が第104代内閣総理大臣に就任し、新内閣が発足いたしました。新たな政権のもと、医療は「国を支える重要な基盤」として位置づけられ、私たちを取り巻く医療環境も大きな転換期を迎えています。その中でも感染症への備えの強化や災害時に医療を止めない体制づくり、医療物資の安定的な確保など、安心して暮らせる社会を支える医療体制の整備が重視されています。加えて医療のデジタル化も重要な柱とされており、電子カルテの標準化や医療機関同士の情報共有の強化を通じて、より安全で質の高い医療の提供が期待されます。これにより診療の連携がスムーズになり、患者の皆様にとつ

ても分かりやすく、安心できる医療環境が整っていくことが見込まれています。一方で、医療人材の確保や医療費の課題、地域医療の維持など、解決すべき課題が残されていることも事実です。医療を取り巻く状況は決して平坦ではありませんが、そのような中でも当院はこれからも地域に根ざし、地域の皆様に安心していただける医療環境を整えてまいります。

この度当院では地域の高度医療ニーズにお応えするため、血管造影のX線装置一式を新たに増設いたしました。血管造影検査は、足の付け根、肘、手首などの動脈から細い管（カテーテル）を挿入して行う検査です。開腹手術に比べて侵襲が少なく、お身体への負担を軽減できる治療法であることから、ご高齢の患者の皆様にも安心してご検討いただけます。今後も最新の医療設備の充実と医療技術の向上に努め、地域の皆様に安心いただける医療を提供してまいります。

また、昨年度から筑波大学整形外科医局より4名の精鋭医師にご着任頂きました。通常の整形外科診療に加えて救急医療にも多大なる貢献を頂いています。

さて、常仁会グループは4つの医療法人と2つの社会福祉法人で構成され、「牛久愛和総合病院」

を中核施設とし、茨城県、新潟県、高知県、福岡県、宮崎県において全16施設と5箇所介護サービス拠点を運営しております。牛久愛和総合病院は「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様へ最善の医療・福祉を提供することを理念とし、その向上に日々努めております。

また、当院は2025年9月9日付で、茨城県知事より医療法に基づく「地域医療支援病院」として承認されました。「地域医療支援病院」とは、地域のかかりつけ医との役割分担と連携を図り、地域医療全体の充実を図ることを目的とした制度となります。紹介患者の皆様への診療を適切に行うことはもちろんのこと、地域の医療機関への積極的な逆紹介を行い、地域全体で患者の皆様を支える医療体制の充実に努めてまいります。また、高度医療や専門医療を担う中核病院として、医療の質のさらなる向上とサービス体制の充実を図り、地域の皆様から厚い信頼を寄せていただける病院を目指して、地域医療の充実に尽力してまいります。

最後になりますが、本年が皆様にとって希望に満ちた明るい一年となりますことを心より祈念し、新年度の挨拶とさせていただきます。

地域連携懇親会

地域医療連携室 室長 鈴木 友文



令和8年3月2日(月)、つくば市のホテルグランド東雲にて「第15回牛久愛和総合病院 地域連携懇親会」を開催いたしました。

本懇親会は、地域医療機関の皆さまと直接顔を合わせ、相互理解を深めるとともに、日頃の連携をより円滑にすることを目的として開催しているものです。医療機関同士が信頼関係を築き、日常的に相談や紹介を行いやすい関係を構築することは、結果として地域の皆さまに安心で質の高い医療を提供することにつながるかと考えています。

当日は通常診療後のご多忙な時間帯にもかかわらず、多くの先生方にご

出席いただきました。龍ヶ崎市、取手市、守谷市など会場からは遠方となる地域からも足をお運びいただき、さらに沼田牛久市長をはじめ行政機関や消防関係者の皆さまにもご参加いただきました。

院内外を合わせて257名の参加となり、地域医療に携わる多くの方々にお集まりいただいたことに、心より感謝申し上げます。

第一部では、救急医療科、循環器科、整形外科、歯科・口腔外科、泌尿器科、眼科の代表医師が登壇し、各診療科の診療内容や受入体制、地域医療機関との連携に関する取り組みについて紹介いたしました。日頃の診療の中でどのような連携が可能であるのかを共有することで、より実践的な医療連携の理解を深める機会となりました。

続く第二部では懇親会を行い、医療機関同士の情報交換の場となりました。



た。これまでも紹介状や文書でのやり取りが中心であった関係においても、直接言葉を交わすことで新たな信頼関係が生まれ、医療現場の課題や地域医療の将来について活発な意見交換が行われました。

また久しぶりの再会を喜び合う姿も多く見られ、終始和やかな雰囲気の中で交流が深められました。

当院は令和7年9月に地域医療支援病院の承認を受け、地域医療の中核を担う医療機関としての役割をさらに強化しております。今後も地域の医療機関や関係機関の皆さまと連携を深め、このような交流の機会を大切にしながら、地域の皆さまにより安心して医療を受けていただける体制づくりに努めてまいります。

入職者

- ①担当 ②専門とその紹介
- ③出身大学 ④趣味

3月1日付

糖尿病・代謝内科

藪内 沙耶香

- ①火曜午前
- ②糖尿病を中心に副腎疾患・甲状腺疾患など内分
- 泌も診療しています。よろしく願います。
- ③東京科学大学卒
- ④だいたい子どもとテレビを見ています。

3月1日付

看護部

中井 翠

患者様一人ひとりに真

摯に向き合い、心身ともに支えられる看護をしていきたいです。

リハビリセンター

作業療法士

榎本 はるな

急性期での勤務経験は短いですが職員の方々や患者様に貢献できるように努めてまいります。

臨床検査センター

臨床検査技師

坂寄 広恵

日々の業務から学びを深め、知識・技術の向上に励みます。

健診センター

事務

藤野 沙耶

これまでの経験を活かして、迅速丁寧な業務へ尽力いたします。

3月16日付

健診センター

事務

谷津 真紀

受診者の方々から安心して健診を受けられるよう、正確で丁寧な対応を心掛けてまいります。

春秋園

通所リハビリ

看護師

坪田 晴美

明るさと思いやりを大切に、安心して居場所づくりを心がけます。

リハビリ

理学療法士

佐々木 萌絵

笑顔を大切に、利用者様に寄り添ったりリハビリを心がけていきます。

Dr趣味リレー

糖尿病・代謝内科 小野瀬 耕

私の家には白い犬が2匹います。家に帰れば、いつでも出迎えてくれ、部屋では自由気ままに寝ていたり、お気に入りのぬいぐるみで遊んでいたり。最近ではストレス解消と歯磨きの一環として大きな骨を8本ほど多めに買いましたが、なぜかそのうちの1本が大人気です。

そんな賑やかな愛犬と暮らす中で、メインイベントといえば愛犬との散歩です。普段は妻が散歩をしま

すが、休みの日には私も一緒に歩きます。1匹は散歩が大好きな子で、いなど思っているくらいおっとりした子です。ただそんな性格の違う犬同士でも一歩外に出れば楽しそうに横並びで歩きます。そんな姿を見て気づけば30分、1時間は優に過ぎてしまいます。

愛犬たちのための散歩ではありませんが、私にとっても体を動かせる時間の一つとなり、また散歩に付随して家族で楽しめる時間もあり、これからのそんな時間を一緒に楽しめたいと思います。

春秋園だより

四月、新しい季節の始まりです。今年度も、新たな仲間を迎え、春秋園もにぎやかになっています。

春秋園では、新入職者に向けての研修のひとつに「利用者体験」があります。

車椅子に乗り、自分一人では動けない、利き手が使えない設定で半日過ごします。昼食を食べたあとに、率直な感想や意見をレポートとして作成、その後何人か体験研修を終えた人たちでグループワークを行うという研修です。

最近、実際に行ったりハビリ職員のリポートです。

Q 車椅子で半日過ごした感想は？

A 座り続けていたため、お尻が痛くなった。その際も、非利き手と片足で除圧したが、時間がかかった。

Q 研修を終えて、嫌だと感じたこと・つらかったことは？

A 何もしない時間が長く感じた。

何かしたいと思っても、職員が忙しそうにしていると声がかげづらかった。

Q 研修中にうれしいと感じたことは？

A 自分から声をかけづらかったので、スタッフ側から飲み物やトイレなどの声掛けをしてもらえたことが良かった。また、近くにいた利用者様も気にかけて、いろいろ話してくれたことが良かった。

Q 今後の業務にプラスになると思うことは？

A 空き時間にも、自主トレなど一人でできることがないかお伝えしていきたい。少しの事でも声をかけられることが他人との関わりにつながると感じたため、担当の利用者様以外にも積極的に声をかけていきたい。

これらの感想や、意見は、研修を行った職員だけでなく、全体の振り返りにも役立ちます。今後も、利用者様の気持ちに寄り添った支援を行えるよう、職員一同がんばりたいと思います。(リハビリスタッフ一同)

部署紹介

リハビリセンター(理学療法士)

副科長 篠塚 敦子

当院リハビリセンターは理学療法部門・作業療法部門・言語聴覚部門の3部門で構成されています。4月からは新入職者も加わり、受付や助手も含め67名の大所帯の部署となりました。このたびは「理学療法士」の仕事についてご紹介させて頂きます。近年、理学療法士の活躍の場は多岐にわたり、医療・介護領域のみならずスポーツ分野や行政、予防医療や産業医療を手掛ける企業方面など、大きな広がりを見せています。

その中で、私たち病院で働く理学療法士は、高度治療室(HCU)で治療が必要な患者さんの超急性期リハビリから退院後にご自宅で行う訪問リハビリに至るまで、幅広い病期に渡り活動しています。患者さんは一人ひとり病態や生活背景が異なるため、身体機能(関節の動き・筋力・感覚・バランス)や動作能力(歩行・生活動作・趣味活動)、生活環境や家屋状況など、様々な視点から評価を行います。その結果をもとに個々に応じた理学療法を実践し、患者さんの思いに寄り添いながら、退院後に望まれる生活を送って頂けるよう心身のサポートをします。最近では骨盤底筋体操教室や腰痛予防セミナーなど地域に向けた取り組みも行っていますのでお気軽にご参加下さい。

DMカフェ

糖尿病・代謝内科 山口 純輝



こんにちは、糖尿病内科の山口です。さて皆様、最近「歯科検診」は受けられましたか？ 糖尿病と歯科は一見無関係に思われがちですが、実は非常に密接な関わりがあります。

歯周病があると、血糖値に悪影響を及ぼす物質(炎症性サイトカイン)が放出され、糖尿病のコントロールが悪化させることがわかっています。逆に、糖尿病のコントロールが不十分だと、歯周病を発症・悪化させるリスクも高まります。

つまり、定期的な歯科検診とメンテナンスでお口の健康を保つことは、結果として血糖値の改善にもつながるのです。

また、歯周病は心血管疾患や呼吸器疾患など、全身の健康問題を引き起こすことも判明しています。

糖尿病の患者様は歯周病のリスクが高いため、1〜3ヶ月に1回程度の受診が推奨されています。歯周病は初期段階では痛みなどの自覚症状が少ないため、気づかないうちに進行しているケースも少なくありません。

大切な健康を守るために、ぜひ一度お口の健康管理を検討してみませんか。

スポーツリラックスおすすめの器具紹介

下半身の運動にはこれ！レッグプレス

人間の筋肉の約7割を占める下半身を鍛えることにより身体に大きな効果をもたらします。施設にある、「レッグプレス(写真)」では下半身全体を鍛えることができ、継続的に行うことで以下のような効果が見込まれます。

【お問い合わせ】

牛久愛和総合病院A館7階
スポーツリラックス
029-874-8791



【使用部位】
大腿四頭筋、大腿二頭筋、
大殿筋、内転筋群等



①生活習慣病の予防(筋肉量増加に伴うエネルギー消費量増加による肥満予防、血糖値コントロール機能の改善等)
②整形外科的傷害の予防(膝痛、腰痛等)
③日常生活動作の質向上(歩行、階段の上り下り、立ち上がり等)

施設ではそのほか、鍛える部位ごとに器具を設置しております。また、常駐スタッフが個人ごとの目的に応じて運動メニューを組んでいき、器具の使い方やフォームチェックを行いますので、一人で運動よりも運動効果を感じてもらえるかと思えます。運動を始めたけれども悩

編集だより

新年度が始まりましたね。期待と同時に不安も入り混じる時期ではありますが、一歩ずつ、焦らずに前へ進んでいきましょう。今年度も何卒よろしく願い申し上げます。(Y・A)

病院理念 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様にも最善の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要 病床数 489床 (一般391床 医療療養型55床 地域包括ケア43床)

施設 敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1151台



診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ・膠原病内科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科、血管内治療科

【専門外来】

循環器疾患専門外来、ペースメーカー専門外来、不整脈外来、肝疾患専門外来、糖尿病専門外来、甲状腺専門外来、血液専門外来、ストーマ(人工肛門・人工膀胱)専門外来、リウマチ専門外来、関節専門外来(股・膝)、脊椎外来・足部外来、スポーツ外来、乳腺専門外来、小児神経外来、発達障害(自閉症・学習障害等)専門外来、小児心理外来、小児科免疫外来、小児科循環器外来、口腔機能外来、皮膚科レーザー外来、内視鏡科、心臓血管外科、そけいヘルニア外来、下肢静脈瘤外来、再建外来、女性泌尿器科外来

臨床研修指定病院／地域医療支援病院
地域災害拠点病院／日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会 **救急 24時間**

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

【関連施設】

- 総合健診センター Tel 029-873-4334
- 健康増進施設 スポーツリラックス Tel 029-874-8791
- 人工透析センター
- 読影センター
- 地域リハ・ステーション
- 介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100
- ひたち野ステーションクリニック Tel 029-896-6200
- 特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 Tel 029-817-5111

